

表1 海外におけるソーシャル・キャピタル政策比較

	アイルランド	イギリス	アメリカ	オーストラリア	カナダ
民主主義、市民参加、政府、政治	参加型民主主義、代表民主主義、若者を市民生活に巻き込む	アクティブ・シチズンシップ、政策形成過程におけるフォーラムの開催	参加の増大、政治資金制度の改革、政府に対する信頼		若者の市民参加
NPO・ボランティア	政府とボランティア・コミュニティ・セクターとの協働、セクターのイニシアチブ	Millenium Volunteers や Experience Corps など、ボランティアの促進、寄付の促進、地域組織の相互扶助	NPOやボランティアの促進を図るために、AmeriCorps や SeniorCorps 等の支援	ボランティアの促進	地域開発におけるボランティア団体の促進
コミュニティ、まちづくり、犯罪	コミュニティと自発性の努力の促進、コミュニティ時間銀行、コミュニティ・セクターのイニシアチブ	近隣・地域のガバナンス、地域の資源に応じた福祉、地域通貨やタイムバンクなどの認証、潜在的犯罪者への取組み、LEADER事業	コミュニティづくり	コミュニティの活性化、地域の安全・犯罪防止・公正	コミュニティづくり、先住民コミュニティにおける地域防犯パトロール
家族・子育て	家族に優しい政策	Sure Startプログラムなど、家族や子育てへの支援拡大	子育てへの支援	家族の社会参加に対する支援、家族支援サービス	
教育	市民教育、若者教育、成人教育、生涯学習の開放化、地域基盤教育(家庭・学校・地域リエゾン・スキーム)	市民教育やサービス・ラーニングのさらなる促進、インフォーマルな学習グループに対する支援	市民教育、サービス・ラーニング、ボランティアの単位認定、(若者)	教育、職業訓練	先住民コミュニティにおける教育の推進
雇用、企業、仕事と生活のバランス、経済、貧困	より柔軟な労働環境の整備、CSR、仕事と生活のバランス、全国反貧困計画	人的ネットワークを用いた貧困からの脱出。企業、労働者と地域間のネット	労働者が柔軟に働き、地域活動のための時間を取れるようにする法律の制定	雇用、企業、労働者と地域間のネットワーク構築	貧困削減
空間・都市計画、交通、居住	サービス、仕事、学校からの距離、公共交通機関およびカー・プールの推進	コミュニティ・ガーデン等、社会的住居の分散、空間計画(公園等のグレードアップ)	都市の空洞化と通勤時間の減少、通行人に優しい設計、公共空間の利用性	住居・交通・都市計画、公共交通機関	新しい移民の居住
文化芸術		ストリート文化やカフェ文化の促進、美術館入場料の無料化	ダンスフェスティバルなど、文化活動への参加の増大	文化芸術	
スポーツ	スポーツへの参加促進	スポーツ・イベントの企画によるスポーツ参加の促進	スポーツ、余暇	スポーツ、余暇	
健康福祉	SCと健康調査(NESF2003)	健康教育局、健康開発局の調査	SC、不平等、近隣と健康に関する調査研究(Kawachi等)	SC創出の一形態としての健康診断、メンタル・ヘルス	健康長寿とSCの関連性、障害、ケア
IT	地域に密着した情報技術や地域メディアに対する支援、地域と公共サービス提供者をよりよく結びつけるための電子政	コミュニティの情報とITネットワーク	コミュニティへの積極的関与を強化する電子エンターテインメントやコミュニケーションの新たな形態を育成する	ICT、コミュニティの情報とITネットワーク	
ソーシャル・キャピタルの計測、調査、啓発、プロジェクト	SCモジュールおよびコミュニティ調査の開発、ソーシャル・キャピタルの調査研究に対する支援拡充	シチズンシップ調査、統合質問票、ソーシャル・キャピタル・ウェブサイト、省庁横断的なワーキング・グループ	政府というよりサワーロ・セミナーが中心	ソーシャル・キャピタルに関するウェブ・ページ	公共政策手段としてのソーシャル・キャピタル・プロジェクト
その他	休眠口座基金制度	メンタリング、陪審員制度など信頼の促進、社会的企業の役割	信仰、信仰に基づく団体	国際、ジェンダー	

出所：西出(2005)に、内閣府経済社会研究所(2005)、Nishide(2006)を踏まえて加筆作成